



2025 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社アクリート
代表者名 代表取締役社長 株本 幸二
(コード番号：4395、東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 敏晴
電話番号 050-5369-3777

VisionTech Pte. Ltd. との戦略的提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、生成 AI ソリューション及び音声認証技術に強みを持つ VisionTech Pte. Ltd. (本社：シンガポール、以下「VisionTech」) と新たに戦略的パートナーシップ契約を締結することを決議し、契約締結いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. VisionTech との戦略的パートナーシップについて

近年、リモートワークやオンライン取引の普及、非対面での本人確認 (eKYC) の重要性の高まりに加え、生成 AI の進化による「なりすまし音声」やディープフェイクへの懸念から、本人性を担保できる音声認証技術の重要性はこれまで以上に増しています。

一方で、いわゆる「オレオレ型特殊詐欺」¹と称される特殊詐欺の認知件数は、令和 6 年には前年比 16.7%増の 10,413 件、被害額は 502.2 億円 (同 148.9%増)²と大幅に増加しています。犯行の最初的手段として電話が約 9 割を占めており、特に警察官などを偽る音声系の手口が増加傾向にあります。生成 AI の普及と音声合成技術の向上を背景に、これらの技術を悪用した詐欺が今後より顕在化するリスクも懸念されていますが、国内では有効な対策が普及していないのが現状です。

このような背景から、従来の声紋認証技術に加え、AI ベースのディープフェイク検知など、生成 AI 技術に強みを持つ新たなパートナーを模索してまいりました。

当社は、生成 AI と人間の協働を前提としたソリューションを幅広く提供する VisionTech と戦略的パートナーシップ契約を締結し、マーケティング、カスタマーサポート等の業務効率化を支援するとともに、音声認証、AI による不正検知をコールセンターシステムと連携させる次世代型の本人認証技術、特にディープフェイク音声の判別や継続的なユーザー認証といった新たな脅威に対応する高度なソリューションを市場展開してまいります。

他方、今回の提携により、Voice Imprint (個人が持つ生体情報に紐づいた声紋情報) を含む様々な認証技術を基盤とした音声認証プラットフォームを、多要素認証 (MFA) と連携可能な形で、ま

ずは日本を軸に金融、公共、医療、通信など多岐にわたる業界へ提供し、高セキュリティ環境の実現と社会課題の解決を推進してまいります。

¹：オレオレ詐欺、預貯金詐欺及びキャッシュカード詐欺盗（以下3類型を合わせて「オレオレ型特殊詐欺」という。）

²：令和7年5月23日 警視庁組織犯罪対策第二課 生活安全企画課発表の「令和6年における特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値版）」より引用

https://www.npa.go.jp/bureau/criminal/souni/tokusyusagi/hurikomesagi_toukei2024.pdf?utm_source=chatgpt.com

2. 戦略的パートナーシップ契約の相手先の概要

(1) 名称	VisionTech Pte. Ltd.	
(2) 所在地	33 Ubi Avenue 3, #05-01, Vertex Tower B, Singapore, 408868 Republic of Singapore	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Lim Hui Jie	
(4) 事業内容	経営コンサルティングサービス、コンピュータソフトウェアの開発及びアプリケーション	
(5) 資本金	SGD 300,000（約3,500万円）	
(6) 設立年月日	2018年	
(7) 大株主及び持株比率	先方の意向により非開示とさせていただきます。	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※「当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態」に関しましては、先方の意向により非開示とさせていただきます。

3. 今後の展開

当社は、パートナー企業である Digital Platformer 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：松田 一敬、以下「デジタルプラットフォーマー」）および VisionTech と連携し、音声認証機能を活用した次世代セキュリティソリューションの提供に向けた検討を開始いたします。

本ソリューションは、FIDO2、生体認証、音声認証を統合した多層防御モデルを採用し、eKYC からログイン、取引行為に至るまで一貫して「本人性」と「意思の真正性」を担保する仕組みの実現を目指します。これにより、中間者（Adversary-in-the-Middle, AiTM）攻撃やSIMスワップ詐欺といった、従来のID・パスワードやワンタイムパスワード（OTP）では防御が困難だった新たな脅威にも対応可能となります。

当社は、2025年9月4日にお知らせした CustIntCo Pte. Ltd.（本社：シンガポール共和国、CEO：Hayk Hakobyan、以下「CustIntCo」）との資本業務提携の取り組みによる音声・顔画像分析サービス製品「ANOTHER AI（アナザーアイ）」の販売を既に開始しており、また今後 VisionTech より音声認証の関連技術等の提供を受け、これにより Pindrop Security, Inc.（本社：アメリカ合

衆国ジョージア州、以下「Pindrop」という)の製品販売に代わる技術・製品とすることで、これまでの顧客先との調整を含めて対応を進めてまいります。そして、それに伴い Pindrop とは提携を解消しております。今後はデジタルプラットフォーマー、VisionTech 及び CustIntCo と共に、日本市場を軸に安全かつ信頼性の高いデジタル取引環境の実現に貢献してまいります。

4. 提携の日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 10 月 29 日
(2) 契約締結日	2025 年 10 月 29 日
(3) 事業開始日	2025 年 11 月 (予定)

5. 業績への影響（今後の見通し）について

本契約により、当社は日本国内の企業へ向けた強力なセキュリティソリューションを提供することが可能となり、サイバーセキュリティ分野における市場シェア拡大を見込んでおりますが、2025 年 12 月期の連結業績を含め、当社の業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合は、速やかに開示いたします。

以上